

職員による自己評価

A環境面

△室内で動き回るスペースが狭い

B児童への支援内容

○個々の課題に合わせた目標を提案、個別プログラムを作成、エビデンスに基づく支援を行っている

C関係機関との連携

○遠隔で開催された研修や、区の事業所連絡会に参加

D保護者への説明責任・信頼関係

○ご相談に対し、対面の面談だけでなく、メールやLINEも活用して対応
△保護者同士の交流の促進

E非常対応

○避難訓練の実施
○虐待防止研修の実施

保護者による評価

A環境面

△少し狭いと思う

△バリアフリーなどの設備

B児童への支援内容

○季節や個人の興味に合わせた内容

C事業所からの情報発信

○「児童発達支援計画」の支援内容の説明が分かりやすい

○ご家族からの相談や申入れについての対応体制

△父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催

D非常対応

○避難訓練の実施
△策定されたマニュアルの周知

事業所内での分析

【共通点】

- ・ 個々の課題に合わせたプログラムの実施
- ・ ご家族からの相談に対応する体制を整えている
- ・ 避難訓練を実施している
- ・ 屋内のスペースが十分でない時がある
- ・ 保護者同士の交流の場が少ない

【相違点】

- ・ 策定されたマニュアルの周知がされていない

分析・検討してみたて…

事業所の強み

- ・支援計画や指導プログラムが個別に細かく作られており、分かりやすい説明が行われている
- ・ご家族からの相談に対応する体制を整えている

事業所の改善点

- ・屋内のスペースが十分でない時がある
- ・保護者同士の交流の場が少ない
- ・策定されたマニュアルを周知する

事業所の改善への取り組み

- ・スペースの使い方

⇒限られたスペースなので十分な広さを補填するのはむずかしいですが、引き続き人数の調整や活動内容の工夫をしていく

例：近隣の公園での活動を増やす、動き回る活動は別室に移動する

- ・保護者同士の交流の場を作る検討を進める

⇒今年度「劇の発表参観」という形で、ご家族にグループ活動を参観して頂く機会があった。来年度以降、参観日を増やしていく事や、参観日に保護者会の時間を設定するといった事を検討していく。

- ・策定されたマニュアルの周知

⇒保護者が閲覧できる場所に配置する

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

- ・支援の質というところで評価を頂けていて安心した。ご家族の信頼を維持できるよう、更なる質向上に努めたいと思った。
- ・普段直接聞く機会がない保護者の率直な評価を伺う事ができて良かった。今回ご提出頂けなかったご家族のご意見も反映していけるよう、アンケートによりご参加して頂きやすい仕組みを検討していきたい。
- ・こちらからの一方的なコミュニケーションではなく、保護者との双方向の風通しの良いコミュニケーションが図れるよう、働きがけを増やして／工夫していきたいと感じた。

事業所名 発達療育 レンテ

担当者 児童発達支援管理責任者 北原 亜紀